

# 授業改善シート〔国語〕

校番(22) 福山市立 誠之 中学校

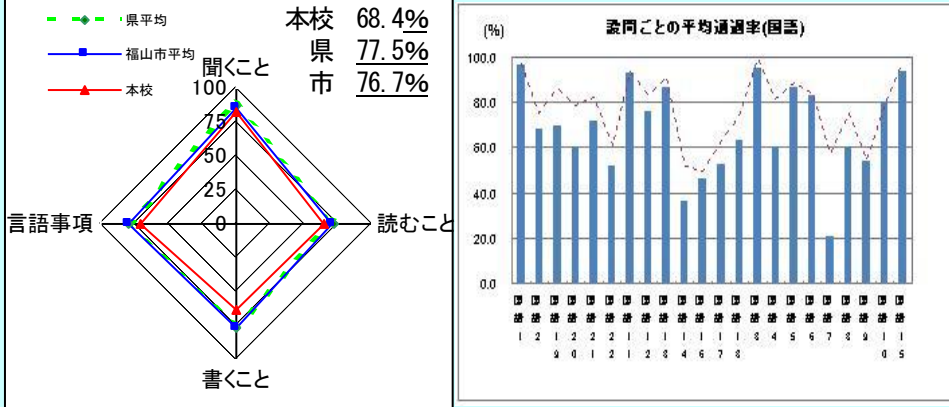
## 昨年度課題

- ① 書く領域での通過率が低い。本校 (48.0%) 県平均 (72.3%)  
意見を支える適切な理由が書かれていない生徒の通過率が低い。  
本校 (33.6%) 県平均 (56.9%)
- ② 自分の意見を伝えるために、適切な材料を選ぶことが出来ない。  
本校 (62.9%) 県平均 (75.1%)

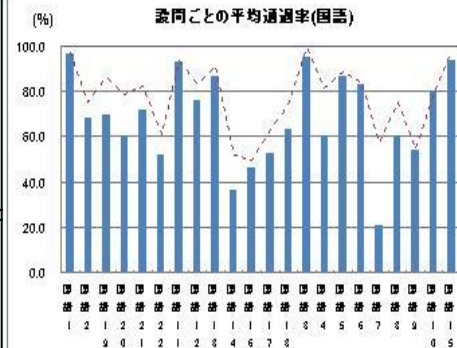
## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ① 結論先行・根拠のナンバリングなど言語技術を取り入れた書き方を、生活ノートや生活の中で取り入れていった。授業の中で、根拠をもとに書いたり発表したりする場面を仕組んでいった。
- ② 根拠をもとに説明する学習活動を取り入れていった。 ・書く領域通過率 10%アップ  
《本年度の目標値 ・通過率 30%未満を 10%以内にする》

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



## 全国学力・学習状況調査 本年度正答率



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎① 文法（主語・述語の関係）の通過率が低い。  
本校 (20.4%) 県平均 (57.2%)
- ◎② 書く領域には一定の成果が見られるが、まだ通過率は低い。  
本校 (63.3%) <昨年度：48.0%> 県平均 (76.9%)  
意見を支える適切な理由を書くことが、弱い。  
本校 (51.8%) <昨年度：33.6%> 県平均 (60.8%)  
無回答率 19%

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業・家庭学習）

- 【国語科】
  - ① 文章を読んだり書いたりする際に、主語・述語を意識させる。定期的にテストの中に主語・述語の問題を取り入れ、通過率を確認していく。
  - ② 書く活動をより取り入れていき、根拠の客観性を考えさせたり、複数の際のナンバリングを意識して使わすようにしていく。
- 【全校・他教科等】
  - ①② 生活ノートや日常の書く・話す場面で、主語・述語を明確にさせていき、意見の根拠を明らかにさせていく。

## 取組みの検証

- 時期 各定期テスト
- 方法 テスト内の問題
- 目標値 ① 30%以上
- ② 無回答率 15%

## 来年度の目標値

- ① 文法（主語・述語）の通過率 30%以上
- ② 書く領域の無回答率 15%以内

# 授業改善シート〔数学〕

校番(22) 福山市立 誠之 中学校

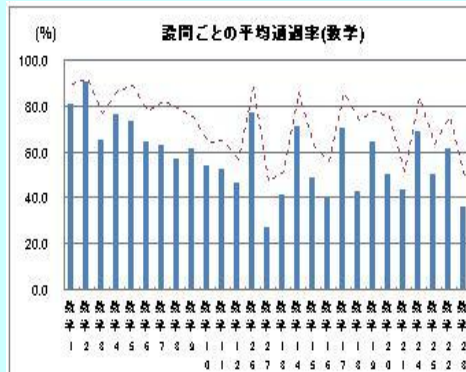
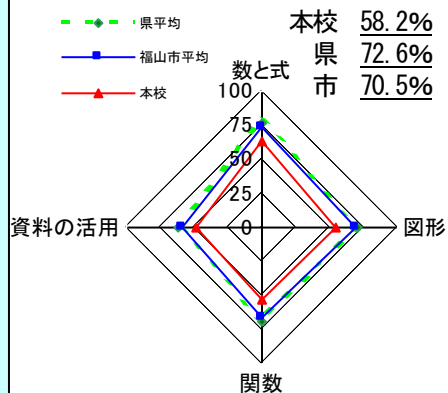
## 昨年度課題

- ①関係を文字式で表すことができない。
- ②1次関数の表から  $x$  と  $y$  の関係を  $y=ax+b$  の式で表現できない。
- ③事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができない。

## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①各単元ごとに、数量関係を読み取らせる場면을重視して、帰納的に考察する練習を行う。
- ②2つの数量関係をとらえる視点を育てる。
- ③グラフを読み取り、考察できる力を育てる。根拠に基づいて筋道を立てて説明させる活動を重視する。  
《本年度の目標値 ・誤答、無解答率を30%以内にする》

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



## 全国学力・学習状況調査 本年度正答率

## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎関係を文字式で表すことができない。  
本校 (27.0%) 県平均 (47.0%)
- ◎資料の活用 (相対度数の意味)  
本校 (35.8%) 県平均 (48.9%)
- ◎図形 (円すいの体積)  
本校 (39.4%) 県平均 (55.7%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業・家庭学習)

### 【数学科】

- ①具体的な事例を通して数量関係を考え、日常的な練習問題で確認し、さらに定着確認のための練習問題をする。(章ごと、単元ごと)
- ②説明を聞く、考える、板書する、問題を解くという場面展開をくり返し呼びかけ、継続させる。
- ③パターン化した(単元的)問題練習に加え、総合的な問題(単元横断的な)を精選して解くようにする。

### 【全校・他教科等】

聞く、考える、板書する、問題を解く作業の定着に向けて取り組む

## 取組みの検証

- 時期 各定期テスト
- 方法 テスト内の問題
- 目標値：通過率を10%向上

## 来年度の目標値

- 通過率を10%上昇させる

# 授業改善シート〔英語〕

校番(22) 福山市立 誠之 誠之中学校

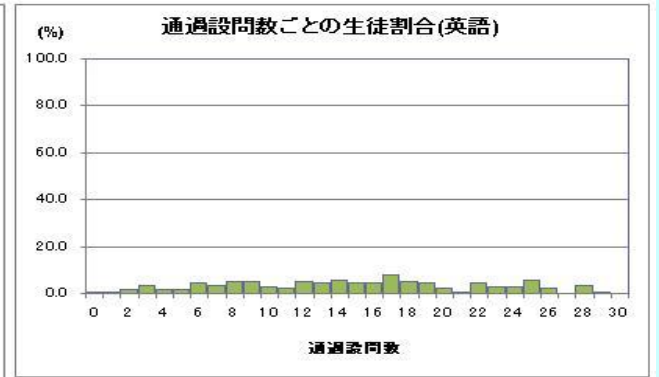
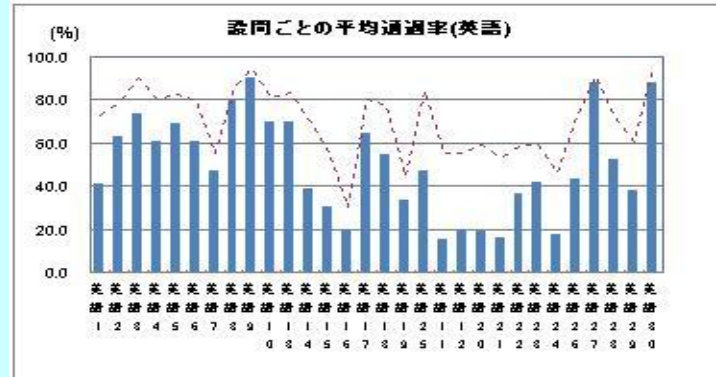
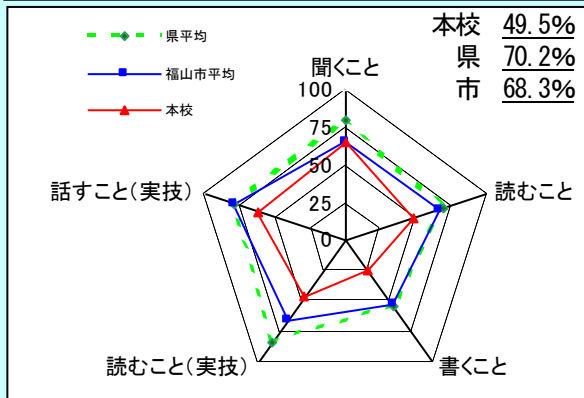
## 昨年度課題

- ①基本的な文のきまりを理解して文を書くことができていない。  
本校 (12.5%) 県平均 (50.4%)
- ②概要や要点を把握して聞き取ることができていない。  
本校 (14.1%) 県平均 (44.8%)

## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①単語カードや絵を用いて、動詞や名詞などの配色、視覚への訴え、反復練習、ドリル学習で定着を図った。
  - ②授業の中で、教科書の内容に入る前に教科書を閉じさせ、自分の耳で聞こえた言葉などを発表させたり、文章の一番はじめの言葉にポイントを置き、5W1Hを重点的に聞き取らせ、内容把握に努めた。
- 《本年度の目標値 ・通過率を20%以上にする》

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎基本的な文のきまりを理解して文を書くことができていない。  
本校 (15.3%) 県平均 (55.7%)
- ◎適切な語を用いた会話文の組み立てができておらず、読むことができていない。  
本校 (38.7%) 県平均 (70.4%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業・家庭学習)

### 【英語科】

- ①単語カードや絵を用いて、動詞や名詞なども色を変えて、視覚に訴え、反復練習を行い、定着を図る。新しい文法をペアワークや、Q&Aなどした後、ワークでドリル学習をし、定着を図る。
- ②その場面に応じた文の組み立てができるように、絵などを用いて、ストーリーの内容を自分でイメージできるようなリスニングや、教科書を用いて音読練習をさせ、生徒たちが場面を想像できるような取り組みを行う。

### 【全校、他教科等】

- ①普段の生活の中で生活ノートに日記を書いたり、行事の感想なども、ナンバリングなどを用いて、一つのかたまり、まとまりとして自分の意見を書かせ、書くことに慣れさせる。

## 取組みの検証

- 時期 各定期テスト ○目標値 30%通過
- 方法 福山市調査問題、テスト内での内容理解

## 来年度の目標値

- 通過率を10%向上させる。